

山田議員

地場産業振興センターの改修計画について

問①平泉寺荘の存続を求める署名は、地場産センターにお風呂を作ることで求めていない。この改修は、市民の理解と賛同が得られていると考えているのか。
②改修工事を先行すると様々な問題が出てきて場当たりの対応になる。全体の計画を慎重に再検討すべきだ。

答①9月20日の全員協議会での説明後、同21日に新聞紙上で公表。以後、市高齢者連合会各地区役員との話し合い、市高齢者連合会と市長と語る会、猪野瀬、平泉寺地区での市長と語る会、ゆつたりサロンの利用者等、公の場で本計画について説明してきており、特に反対の声は聞いていない。
②センターの北側半分は市民活動センター機能など、市民が主体的、自主的に活動する場として予定しており、関係団体等の意見を集約し、必要に応じ実施設計に反映していく。
今後、複合施設として効率的な機能を有するように関係機関と協議しながら設計にあたる。

大規模な道の駅計画について

問大規模な駐車場を持つ道の駅を平成28年オープンと言うが
①恐竜博物館の駐車場は福井県が整備すべきでないか。これまではパーク&ライド用に、農協やケイター大日工場などの駐車場を借りてきたが、新たに駐車場用地を勝山市が購入するのか。
②国道416号沿いの既存の観光トイレはどうするのか。
③道の駅の運営赤字は、勝山市が負担するのか。

答①建設場所が決定するまでは既存、新設についてお答えができません。
②国道416号沿いの恐竜トイレについては道の駅の建設場所が決まらない以上、当然トイレとしての存続を前提としていく。
③採算性、運営形態については、官設民営を原則として検討を進めているが、詳細については基本計画の中で決定していく。



地域地場産業振興センター

乾議員

大野・勝山間の道路整備について
新しいトンネルと下荒井橋

問両市の往来を容易にする新しいトンネル、下荒井橋の新規着工計画はあるのか無いのか。特に、大野市民に福井社会保険病院を容易にご利用いただくためにも早期の完成が待たれる。どのような状況か。

答今後の計画については、本年度末から順次供用を迎えていく中部縦貫自動車道 永平寺大野道路の交通量の分散ならびに物流の変化を検証しながらの整備を進めていくものと考えられる。
勝山市は、大野市と共に、国道157号整備促進期成同盟会に加盟し、各方面への要望活動を行っており、今後、大野市との連携をさらに深め、国、県に対し、橋梁部、トンネル部の4車線化の必要性を訴え、単に交通量だけでなく、広域的な観点での、生活道路としての整備を強く要望していく所存である。

花月楼の存続について

問当建物には、往時の下町文化の面影が色濃く残され、貴重な財産として国の登録有形文化財の指定を受けている。昨秋、市民会館で開催された、芥川賞作家、津村節子氏の講演会において、当建物を知らる氏は、その保存を願っておられた。また最近、所有者が個人の維持管理に限界を感じられ取り壊さざるを得ない旨のお話があったとのこと。歴史はお金では買えない。歴史の証として次の世代に是非残したいもの。どのように対応するのか。

答花月楼の建物を、新たな活用をしていく場合には、耐震、耐火建築物にしていく必要もあり、改造等に多額の費用がかかることも想定される。現時点では市民を始めとする民間活力を活かした管理運営を望んでおり、時間は限られていくが種種模索していきたいと考えている。



下荒井橋

その他の質問
・インターネット関連による被害について
・「かつやま逸品開発・販路開拓事業」の新たな展開について